



福岡県東峰村議会だより

議会ウォッチ 47号

2017年1月



ココに注目!

どうする!? 旧宝珠山小 P2

12月定例会トピックス P4

ここが聞きたい! 《一般質問》 P6

表紙 / 東峰学園給食交流会より(P12へ)

どっぴりする!? 旧宝珠山小



平成27年から朝倉の地域を中心とする企業の集合体から、旧宝珠山小学校を活用した水耕栽培施設の計画が提案されました。企業からの説明では、主にグリーンレタスなどの高機能野菜の栽培を予定している。初めは1階部分を改装して栽培を行い、順次2、3階へ拡張予定。校舎改装のための村からの支出はな
いが、入出路整備や樹木伐採の可能性はあります。

また、村民の雇用や賃料、法人税収入も見込めます。

| | | |
|-------|--------------|---------------|
| 平成27年 | 8/26 | 全員協議会（企業から説明） |
| 平成28年 | 9/6 | 全員協議会（企業から説明） |
| | 10/20 | 全員協議会（企業から説明） |
| | 11/17 | 議会意見交換会 |
| | 11/21 ~22 | 京都府企業へ議員派遣 |
| | 11/24 | 久留米市の研究施設へ見学 |

参加者アンケート

| 企業誘致について | | 水耕栽培施設利用について | |
|----------|-----|--------------|-----|
| 理解できる | 8人 | 理解できる | 1人 |
| 理解できない | 8人 | 理解できない | 5人 |
| わからない | 3人 | わからない | 5人 |
| 未回答 | 10人 | 未回答 | 19人 |

参加者の意見（アンケート含む）

企業誘致について

- 過去の企業誘致から学ばなければならない。
- 村内企業を応援し、成長を見守っていききたい。
- 若い人が定着するような企業誘致を。
- じっくり考えて企業を探してはどうか。

水耕栽培施設としての活用について

- 薬や肥料が下流に流れるのが心配。
- 農業関係に立派な建物を使わなくてもいいのでは。
- 土と空気と水がいいところで水耕栽培しなくてもいいのでは。
- 水耕栽培は雇用が少ないのではないか。

校舎の活用等、その他

- 学校の校舎にふさわしい使い方があるのでは。
- 旧宝珠山小学校活用については建物保存を第一に考えて。
- 校舎を宿舎に改装し、グラウンドを芝広場にすれば、合宿所になる。
- 村からの住民説明が後回しになっている。



当日は30名の方々にご参加いただきありがとうございました。意見交換やアンケート等でした。踏まえ、今回の旧宝珠山小学校の活用、あるいは水耕栽培施設の提案については今後も調査検討して参ります。調査・検討結果等については、議会広報や意見交換会を通して住民の皆様にお伝えして参ります。

議会意見交換会

30名ご参加頂きました

11月17日（木）に宝珠山基幹集落センターにて議会意見交換会を開催しました。今回は旧宝珠山小学校の活用についてテーマを絞り、住民の皆様の意見を拝聴しました。

12月定例会

トピックス

①東峰村イッピンプロジェクト (地方創生事業)

農産物の6次産業化【1次(生産)2次(加工)3次(販売)等を一体化したもの】と併せて、新商品の開発及び既存商品の改良など特産品づくりの推進事業。今回の予算は加工場等の適地調査、既存商品の改善策の検討等。

予算1100万円
(国交付金500万円・一般財源600万円)

②トーキコーディネーター プロジェクト (地方創生事業)

小石原焼の伝統的技法を生かした新デザイン開発の支援や地域商社を担う人材の育成する事業。地域の稼ぐ力を高めるため、マネジメント能力を有するコーディネーターを招へいし、平成30年度の地域商社設立を目指すものです。今回の予算は窯元の意向調査や販路拡大に向けての調査等、地域商社設立への準備費用。

予算1200万円
(国交付金475万円・一般財源725万円)

平成28年12月定例会は12月6日から12日までの会期で開催しました。
条例の一部改正3件、計画の変更1件、28年度一般会計及び特別会計補正予算2件、意見書1件を慎重審議し、原案どおり可決しました。また、9人の議員が一般質問を行いました。

国民健康保険税が 上がります

(平均7・9%増)

東峰村国民健康保険条例の一部を改正する条例を審議し、承認したことに伴い国民健康保険税が平成29年4月より増額されます。

国民健康保険税については、平成27年3月に一部改正を行い、平成27年度より税率を2年間据置いてきました。しかし、生活習慣病治療等による医療費支払いの増加や、医療の高度化による高額な医療費支払いにより、医療費が年々増大したため、27年度の国保運営も赤字となり一般会計より3580万の法定外繰入(赤字補てん)をしている状況です。

今回の改正にて国保保険税を平均7・9%増額することにより、国保運営の健全化を図るものです。

国民健康保険税改正後の試算は、以下のとおりとなります。

(単位：円)

| 所得金額 (給与年収) | 世帯構成 (年齢) | 年 税 額 | | 増加負担額 |
|----------------------|------------------------------|-------|---------|--------|
| 300万円 (4,837,500) | 世帯主 (45) 妻 (43) 子 (18) | 28年度 | 434,000 | 41,100 |
| | | 29年度 | 475,100 | |
| 150万円 (2,872,000) | 世帯主 (45) 妻 (43) 子 (18) | 28年度 | 276,500 | 24,600 |
| | | 29年度 | 301,100 | |
| 0万円 (1,030,000) | 世帯主 (63) (1人世帯) | 28年度 | 18,300 | 1,350 |
| | | 29年度 | 19,650 | |

※1 実施時期 平成29年4月1日より。

※2 国民健康保険の運営が平成30年度より都道府県へ移管される見込みです。

第9回定例会(12月)議決結果一覧表

賛成：○ 反対：●

| 区分 | 審議結果 | 議案一覧 | 長澤貞義 | 佐々木紀嘉 | 高倉寛視 | 梶原文明 | 高橋弘展 | 黒川隆康 | 梶原光春 | 伊藤均 | 柳瀬弘光 |
|------|------|--|------|-------|------|------|------|------|------|-----|------|
| 条例 | 可決 | 東峰村一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について (人事院勧告による給与及び勤務条件の改正) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 可決 | 東峰村税条例等の一部を改正する条例の制定について (法人税率及び軽自動車税の改正) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 可決 | 東峰村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について (国民健康保険税率の改正) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 可決 | 東峰村過疎地域自立促進計画の変更について (林道：五駄・土師山線の追加) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 補正予算 | 可決 | 平成28年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第4号)について | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 可決 | 平成28年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算(第2号)について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| その他 | 可決 | 地方議員の厚生年金加入を求める意見書について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

ここが聞きたい!

一般質問

1. 高橋 弘展 議員 — 東峰村の介護保険料に対する考えは
2. 伊藤 均 議員 — ライスセンター建屋の不具合発生要因は
3. 長澤 貞義 議員 — 村内に家族等がない高齢者への外出支援策は
4. 柳瀬 弘光 議員 — 間伐材を活用する考えは
5. 梶原 光春 議員 — 岩屋駅前と岩屋公園の整備状況は
6. 黒川 隆康 議員 — ウォーキング事業の機器増設はできないか
7. 梶原 文明 議員 — 国道211号線の危険個所の対策は
8. 佐々木 紀嘉 議員 — 低迷している林業をどう支援するのか
9. 高倉 寛視 議員 — 井戸試掘ボーリング工事費627万円の責任は



東峰村の介護保険料に対する考えは
— 村長 給付費の抑制を図っていききたい

議員 平成27年より65歳以上の介護保険料が大幅に上がったが、その仕組みは。
保健福祉課長 広域連合でグループ別保険料が導入されている。2力年の実績に基づき高齢者一人当たりの給付費の高い順から、A、B、Cに区分され、保険料が設定されている。東峰村はAグループの7番目。

議員 Bグループに戻ることは可能か。
保健福祉課長 計画の見直しは3年ごとにあり、平成27、28年の実績により一人あたりの給付費が上から9番目以下になれば、平成30年度からBグループに戻ることは可能。

議員 このままAグループでいいのか。村長の見解は。
村長 村としても給付費の抑制を図っていかねばならない。

議員 今後、介護を受ける家族にも理解が進まない抑制できない。冊子(写真)を配っても読まないの、伝える方法はないか。
村長 口コミ等の手段において紹介できるような体制を考えていきたい。



全戸配布されています



村内に家族等がない高齢者への外出支援策は
— 村長 役場に相談していただきたい

議員 高齢者外出支援のタクシー利用券の足りない方に対し、さらに支給できないか。
保健福祉課長 タクシー利用券は月8枚で年間96枚交付している。80%以上利用している方が2名、平均利用率が23%であり、今後の利用状況を見ていきたい。

議員 村内に親戚縁者や子どもがいない高齢者にもっと外出のサポートができないか。
村長 相談等があれば役場で対応したい。

学童保育について

議員 議員視察で行った長野県や岡山県、近隣自治体では、学童保育(放課後児童クラブ)が実施されている。我が村に若い世代の家族を移住促進するのであれば、



今後の学童保育は

議員 ライスセンターが、本格稼働したが村長の所見は。
村長 初年度は村の稲作面積の約半分を占める利用がされたので、大変良かったと思う。また、ライスセンターの充実を図ることにより耕作放棄地の減少や、美しい景観も守れると思う。

議員 ライスセンターにおける建屋不具合の要因はどこか。
村長 役場職員の体制において設計・施工における技術者がいないため、管理監督体制に不備があったと考える。



どうする粉塵対策(ライスセンター)

議員 本格稼働してすぐに建屋側面の一部を解体したが、原因は。
農林観光課長 設計機器での粉塵の排出能力と、実際設置した機器の能力に相違があり、緊急的に

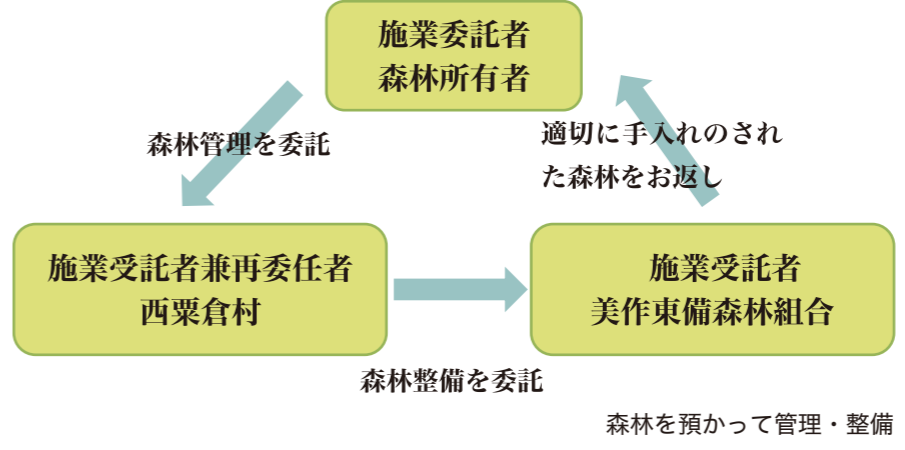


間伐材を利活用する考えは
— 村長 村内での活用の仕組みはできると思っている

議員 林業の振興における村の取り組みは。
村長 森林環境税を使った荒廃森林再生事業(県補助)として調査・間伐・除伐等を行っている。

議員 切り捨て間伐ではなく、利活用する仕組みはできないか。
村長 村内での活用の仕組みはできると思っている。例として木材チップ、薪ボイラー、木製玩具や家具への間伐材の利用が考えられる。

議員 山林所有者と村が管理協定を結び、また、村と森林組合が連携し、計画的に育林、間伐を促す仕組みはできないか。
村長 森林組合等と協働で森林の再生を図っていくことは重要だと思っている。村と協働事業ができないか森林組合長と話している



るが、森林組合は人手が少ない状況であると聞いている。山の再生は重要な課題であるので取り組んでいきたいが、現状では体制作りを構築するのはまだ時間を要する。



ウォーキング事業の機器増設はできないか
— 村長 各地区の公民館に設置の方向で考えたい

議員 ウォーキングマイレージ事業において、役場やいずみ館に、データ転送機器の設置を予定されているが、もう少し利用者の利便性向上の検討はできないか。
保健福祉課長 無料送迎バスを利用していただき宝珠山庁舎・小石原庁舎・いずみ館でのデータ更新を考えている。保健師による各地区での健康相談時にもデータの更新を併せて行っていきたい。また増設も考えていきたいと思う。

議員 保健師の健康診断時に高齢者が、簡単にできる運動等の指導も行ったらどうか。
保健福祉課長 そういったプログラムを組んだものを紹介しながら指導を行っていきたい。



ウォーキングマイレージ機器

議員 2週間に一度役場等に出かけるとなると面倒で利用しなくなる恐れもある。できれば各地区への設置を考えられないか。
村長 皆さんが健康づくりに頑張ろうとの機運になっている。最低でも各地区の公民館に設置できるように考えていきたい。

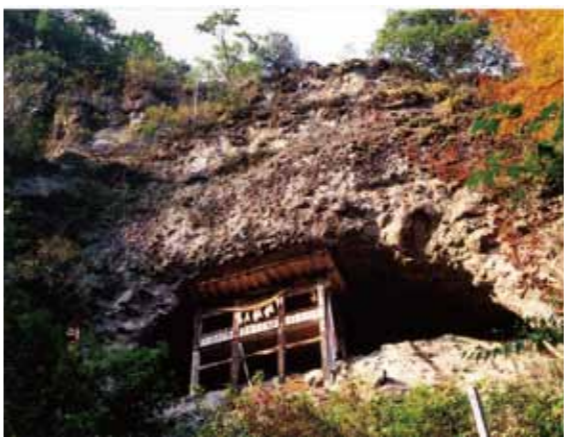


岩屋駅前と岩屋公園の整備状況は
— 企画政策課長 保安林解除の許可が出るまでは伐採にかかれ

議員 岩屋駅前の整備計画と岩屋公園の景観支障木の伐採の進み具合と案内看板の整備状況は。
企画政策課長 保安林解除の許可が出るまでは伐採にかかれず、年明けからJRの整備に移っていく。

村長 予算を計上して村内の看板も改修なり整備を図っていきたい。
議員 給与格差解消のための村の考えは。
村長 村としては現時点で即答ができない状態。

議員 旧小石原小学校跡地に建設予定の獣肉処理施設の処理内容と能力は。また、販売ルートは確立されているのか。
建設水道課長 初年度考えているのは100頭。200頭程度の処理能力はある。
村長 ハム、ソーセージ等の加工までは考えていない。販売ルートについては検討委員会で検討中。



岩屋公園(熊野神社)

同一労働同一賃金について
議員 一般職員と臨時職員の給与格差はあるが、その金額は。
総務課長 一般職の大卒初任給月額額は16万7000円。臨時職員は時給800円。



国道211号線の危険個所の対策は
— 村長 県土事務所に速度抑制等を再度要望していく

議員 昨年12月に速度抑制を講じると言われて1年経過しているが、対策はされていない。どのような対策を要望されたのか。
建設水道課長 県土事務所に、次年度要望を毎年9月に提出。緊急性があれば随時要望書を提出している。

で、今年になって9件もの事故が発生している。こういった回答があったか。
建設水道課長 県は道路上に波状の舗装等を検討している。
村長 当該区間は道路構造令に基づき改良されており、今後更なる改良計画は考えていないとの回答。先ほど担当課長が答弁したような改良を県土事務所に要請していく。

議員 このカーブ(写真)は勾配が急なためにスピードが出る。
建設水道課長 回答は頂いており、できる箇所から実施している。



事故多発の急カーブ

行政視察報告

岡山県 岡山市・西粟倉村

10月25日～27日に岡山市で公民館を中心とした「ESDの取り組み」と西粟倉村で「百年の森林事業」の視察を行いました。



間伐材の集積状況

「百年の森林事業」 (西粟倉村)

西粟倉村：人口1400人
面積57.97km²
森林面積95%(人工林85%)

西粟倉村の「百年の森林事業」は村の特別会計で行っており、国・県からの補助を利用しながら計画的に荒廃森林の改善を行っている。村の資源である森林から産業や仕事を生み出すという構想から、山林所有者と村が管理協定を結び間伐材を森林組合や労務班と連携をとり搬出間伐を行っている。

間伐材に関しては積極的に村内で活用し、木工製品や薪ボイラー燃料として利活用している。

また、森林の事業を始めてから、移住者が100人を超え、それに伴い森林関係以外の新規事業者も増え、村における経済効果が現れてきている。



岡山県

岡山市ESDプロジェクト

「Eえ～ものを S子孫の D代まで」

気候変動による自然災害の増大、格差や貧困の拡大など、私たちの周りで起きている問題は、毎日のくらしや仕事を通してかかわっています。ESD(持続可能な開発のための教育)は、将来の世代のことを考え、今の問題に取り組み、大切なものを伝えるために、様々な学びと活動が行われること。岡山市では地域の拠点である公民館を中心に取り組まれています。



民話の映像化の様子



ESDの研修

「ESDを実践する公民館を見学しました」

灘崎公民館では、7つのテーマ(IT、青少年健全育成、環境、高齢者活動、健康、新たな共生のまちづくり、安全・安心なまちづくり)を持って公民館活動に取り組まれています。その中でも、地域の歴史マップづくりや昔から伝わる民話の映像化など、住民の方が集まり次の世代に残す活動を中心に取り組まれており、むらづくりで最も大切なことは「住民の心を豊かにする活動・取り組み」ではないかと感じました。

議員 林業の低迷は木材価格の低下だが、活性化させる支援策としては、搬出方法、森林情報、作業員の確保、鹿被害対策などがあるのではないかと。

村長 森林再生についてどうあるべきかが一番大事だと思っている。議員が視察に行かれた西粟倉村



荒廃森林再生事業

議員 結局、627万円の金額が無駄になったが、村長として責任はどのようにとるのか。

村長 試掘という形で工事を発注しているので、水は出なかったが、妥当な範囲だったと思っている。

企業誘致について
議員 なぜ、水耕栽培事業を旧宝珠山小学校に誘致しようとしているのか。



ライスセンター井戸

議員 結局、627万円の金額が無駄になったが、村長として責任はどのようにとるのか。

村長 雇用責任問題というものは、村が関知すれば言われることは分かるが、それが絶対条件になるかと、私としてはそうじゃないと思う。

議員 荒廃森林再生事業の進捗と、この事業の問題点はなかったのか。

村長 村は85%が森林であるので、行政と森林組合が、いかに協働して再生出来るのか打ち合わせをしている。

農林観光課長 計画面積の70%を超える達成率だが、問題は従事者不足と事業期間が残り2年であること。

議員 農事組合法人に今後どのような支援が出来るのか。

ライスセンターについて
議員 ライスセンターについて、村の基幹産業は農業という認識は揺るがない。初期投資については村が行うと思っており、育苗から穫り入れまでの機械を含めた設備等について整えていきたい。

議員 ライスセンターの井戸試掘ボーリングで627万円使っている。なぜ、水の出ない所を掘ったのか。

農林観光課長 敷地の周辺には湧水もあったので、受水槽の近い位置ということで場所を指示した。124m地点まで掘ったが水は出なかった。

議員 企業誘致で村民の方を雇うにしても、1年2年で倒産した場合、仕事をなくした人たちに行政はどうするつもりか。

村長 雇用の責任問題というものは、村が関知すれば言われることは分かるが、それが絶対条件になるかと、私としてはそうじゃないと思う。



佐々木 紀嘉 議員

—— 低迷している林業をどう支援するのか
—— 村長 森林組合と協働、協調し再生を図りたい



高倉 寛視 議員

—— 井戸試掘ボーリング工事費627万円の責任は
—— 村長 試掘工事なので妥当だと思っ



傍聴する姿は
真剣そのもの
～東峰学園6年生議会傍聴～

昨年12月定例会会期中の12月6日に東峰学園の6年生18名が議会傍聴に訪れました。

一般質問の見学でしたので難しい話もあったかと思いますが、真剣な様子でメモを取りながら聴いていました。

一時間弱の傍聴でしたので、議会の様子はほんの一部しか感じ取ることはできなかつたかもしれませんが、議員と行政との質疑の模様などを勉強できたのではないかと思います。

子どもたちの
笑顔に囲まれて
～給食交流会～

定例会閉会后、12月16日に東峰学園の3、5、6年生との給食交流会に参加しました。

この日の給食でも東峰村の農産物も多く使われていました。村からの補助を行って東峰村のお米も使われています。

食事の際には、給食の食材について子どもたちが校内放送を行っており、村の農産物の勉強になっていました。

これからの村を支える子どもたちから元気をもらい、新たな気持ちで議会活動に取り組みまいります。



編集後記
初春のお喜びを
申し上げます

あっという間に一年が過ぎ、村民の皆様手に取っていただける広報紙になっているかと自問自答しながら取り組んできました。

お陰様で昨年全国議会広報コンクールにおいて奨励賞を受賞しました。

気持ちを新たに益々、皆様の身近に感じてもらえる紙面づくりにまい進してまいります。

| | |
|----------|-------|
| 議会広報特別委員 | 高橋 弘展 |
| 委員長 | 黒川 隆康 |
| 副委員長 | 長澤 貞義 |
| 委員 | 伊藤 均 |
| | 柳瀬 弘光 |
| 発行責任者 | 大蔵 久徳 |
| 議長 | |